



# 福島原子力事故関連情報アーカイブ

Fukushima Nuclear Accident Archive

Title	野生ゼンマイ 131 個体の葉の放射性セシウム濃度
Alternative_Title	Radioactive cesium concentration in leaves of 131 individuals of wild osmund
Author(s)	清野 嘉之(森林総合研究所), 小松 雅史(森林総合研究所), 赤間 亮夫(森林総合研究所), 松浦 俊也(森林総合研究所), 広井 勝(郡山女子大学), 岩谷 宗彦(日本特用林産振興会), 二元 隆(日本特用林産振興会) Kiyono, Y.(Forestry and Forest Products Research Institute); Komatsu, M.(Forestry and Forest Products Research Institute); Akama, A.(Forestry and Forest Products Research Institute); Matsuura, T.(Forestry and Forest Products Research Institute); Hiroi, M.(Koriyama Women's Univ.); Iwaya, M.(Japan Special Forest Product Promotion Association); Futamoto, T.(Japan Special Forest Product Promotion Association)
Citation	第 5 回環境放射能除染研究発表会要旨集, p.18 5th Workshop of Remediation of Radioactive Contamination in Environment
Subject	セッション 5 : 食の安全・野生生物
Text Version	Publisher
URL	<a href="http://f-archive.jaea.go.jp/dspace/handle/faa/109435">http://f-archive.jaea.go.jp/dspace/handle/faa/109435</a>
Right	© 2016 Author
Notes	禁無断転載 All rights reserved. 「第 5 回環境放射能除染研究発表会要旨集」のデータであり、発表内容に変更がある場合があります。 学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りいたします。



## 野生ゼンマイ 131 個体の葉の放射性セシウム濃度

清野嘉之・小松雅史・赤間亮夫・松浦俊也（森林総研）・広井勝（郡山女子大）・岩谷宗彦・二元隆（日特振）

野生山菜は採取地が広域に散在することから、出荷制限解除の方法も広域を単位とする必要がある。しかし、野生山菜の放射性セシウム濃度のバラツキや経年的トレンド、それらに影響する条件についての調査例は少なく、出荷制限解除の準備に利用できる情報は限られている。そこで、野生ゼンマイについて、2015 年夏に郡山市内 100 か所で葉を採取し、うち 20 か所でリターと土壌を採取した。検証用に市内の別の 31 か所で葉を採取した。放射性セシウムの沈着量や地形、ゼンマイの成長の季節性等の条件を考慮して葉の放射性セシウム濃度のバラツキを算出し検証した。また、出荷制限解除を目的とする検体採取の負担軽減化のための手法を試作した。